



報道で紹介された美瑛高校 24

◆令和6年3月1日(R6. 3. 9 びえい新聞)

一人ひとり晴れやかな表情で学び舎を巣立ちました。まだまだ不安なことはあると思いますが、自分たちの足で一步一步進んでもらいたいと思います。

就職先で、進学先で自律した生活をしてください！

卒業おめでとうございます。

思い出がいっぱいに詰まった3年間の学校生活に感謝を込めて卒業。美瑛高校で3月1日に「第62回卒業式」が開かれた。今年度は24人の生徒が卒業。美瑛高校を旅立ち、進学・就職とそれぞれに新たな歩みを始める。1、2年生の後輩や教職員、保護者たちの大きな拍手で迎えられ入場した卒業生たちには、壇上で一人ずつ谷尊

様々な思い出を胸に新たな旅立ち 美瑛高校24人に卒業証書が授与



仁校長から卒業証書が授与。谷校長は「多くの人々の励ましや支えがあり、それらへの感謝の気持ちを言葉で伝えてもらいたい。人生は山あり谷ありの連続。困難を乗り越える時こそ自分を高められるチャンス。生きる力を基盤に自分の道を切り拓き、これからの長いのりを歩んで行ってもらいたい」との式辞に続き、PTAの太田典夫会長が祝辞。在校生を代表しての高石璃乙さんの「学んだことはかけがいのない財産。様々な困難も3年間の経験を糧に乗り越えられると信じている。未来が明るく輝かしいものになることを願っています」との送辞に、卒業生代表の十河楓さんが「教室での当たり前前の日常がもうこないと思うと寂しくて仕方がない。精神的にも成長

できたのは、熱心に見守り支えてくれた先生たちのおかげ。美瑛高校に来てよかった。社会に出たら色んなことがあるけれど、巡り合えた先生や仲間たちを思い出し、前に進んで行こうと思う」と答辞で応えた。